

## (5) 年生 キャリア教育単元計画

教科	総合的な学習の時間
単元名	地域の米作りと環境
関連する教科	社会, 国語, 理科, 家庭科
単元目標	地元の企業が環境へどのような取り組みを行っているか知り, 自分たちが地域の環境や人へできる取り組みがどんなことか知る。
連携した企業	カイハラ(株)
出前授業の実施内容	カイハラ工場が行っている環境への取り組みを知る。

### キャリア教育の目標

自己理解力	自己表現力	チャレンジ&チェンジする力
自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明することができる。	活動をふり返り, 改善策を考える。

### キャリア教育のルーブリック

	自己理解力	自己表現力	チャレンジ&チェンジする力
A	・自分の将来の夢や目標に向けて取り組むことに気付いている。	・場面に応じて効果的な表現方法を選んでいる。 ・構成を考えて, 説得力のある説明をしている。	・よりよい改善策を考えている。 ・よりよい改善策を活かして取り組み, 課題を克服している。
B	・自分の将来の夢や目標を持っている。	・自分の思いや考えに合った表現方法を選んでいる。 ・表現方法を選んで説明している。	・活動を振り返り, 改善策を考えている。
C	・自分の得意なことや夢中になれることを見つけている。	・自分の思いや考えを決まった表現方法で説明している。	・自分の課題の解決に向けて取り組んでいる。

### 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の米作りと環境について理解し, 自分にできることを身につけている。[自理]</li> <li>体験したことを身につけ, 新聞にまとめることができている。[自理]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の環境や取り組みについての課題に気づき, 自己目標を確定して, 実践している。[自表]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が環境に向けてできる取り組みを考え, 目標達成に向けて進んで実践しようとしている。[子]</li> </ul>

# 活動計画

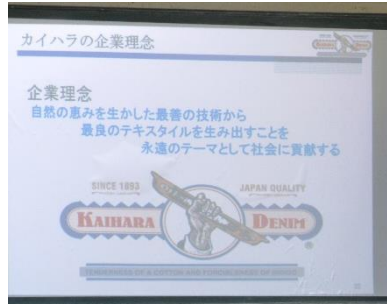
時	学習活動	キャリア教育の資質能力向上の視点
1(社会)	地元の農作物について、調べて、興味のある作物をくわしくまとめる。	
2・3	金丸米というブランド米があることを知り、どのような物か地域の人や加須氣に聞き取りをして調べ、疑問を見つける。	チャレンジ&チェンジする力
4(社会)	米の育て方についてJAの資料を使って調べる。 金丸米を収穫している人へ質問を行い、育て方を知る。	
5～7	金丸米の田植え体験を行う。(交流館 ※チーム青木) バケツ稲を育てる。バケツ稲の成長を記録し、変化をまとめる。	チャレンジ&チェンジする力
8～13	稲刈りの体験をする。(交流館 ※チーム青木)	チャレンジ&チェンジする力
14(理科)	稲のめしべやおしべを顕微鏡で調べる。お米の「つくり」について理解する。	
15・16	米の作り方を知り、おいしい理由を考え、常金丸に流れる水について調べる。	
17(理科)	常金丸の上流を流れる川の様子を観察し、「福山市環境出前講座」より、水質調査を行う。	チャレンジ&チェンジする力
18・19	水質調査より、常金丸に流れる川の水がきれいであることを理解し、まとめる。	自己表現力
20・21	米作り、地域の環境について、自分の感じたこと、気付いたことをまとめる方法を考える。	
22(国語)	新聞のまとめ方について理解する。	
23(国語)	これまで学習したことを新聞にまとめる。	自己表現力
24～26	自分達が地域の環境や学習に協力してくれた方々にできることを考える。	自己理解力
27～29	地域の川をきれいに保つために家庭でできる、河川浄化チャレンジを行う。 (芦田川環境マネージメントセンター)	チャレンジ&チェンジする力
30・31	カイハラ(株)の出前授業より、企業が地域のために行っている取り組みや、環境への配慮について理解する。(出前授業:カイハラ(株))	自己理解力
32	常金米を使ったレシピを考えてパンフレットを作る。	チャレンジ&チェンジする力

## ○出前授業での児童の様子

米作りを通して、神谷川のきれいな水は作物がおいしく育つこと要因の一つであることを実感しており、カイハラ(株)が染色に必要な水をどのように処理されているのか興味をもって出前授業に参加することができた。

CSR活動(企業の社会的責任)の取り組みとして、①廃棄物の削減 ②染色水の浄化 ③水のきれいに ④地球をきれいに されていることを知ることができた。

また、「伸びるデニム」を製作するために糸の中にゴムを入れることをされていることを聞き、実際に生地を手で触って実感することができた。



## ○単元を終えての改善点

- ・出前授業で企業としてどのような取り組みをさせているのかを知ること、社会貢献を様々な形でされていることを知ることができた。また、これからのモノづくりとして「自然の恵みを大切にしたい環境配慮と地域住民の方たちへの感謝の気持ちを忘れずに進めていきたい。」と話されたことから今後自分達がどのように、地域に貢献していけるのか考えていくよいきっかけとなった。
- ・単元の終末に出前授業を行ったために、これをきっかけに深めていくことがあまりできなかった。今後は、どこで出前授業を行うのか精選していく必要がある。